

DoboX のデータ利活用に関する取組について

1 要旨・目的

公共土木施設等に関する情報の一元化・オープンデータ化を可能とするシステム基盤であるインフラマネジメント基盤 (DoboX) のデータ利活用に関する今年度の取組について報告する。

2 現状・背景

県民の安全・安心、利便性の向上など、広島デジフラ構想に掲げる目指す姿の実現に向け、DoboX のデータ拡充を図るとともに、デジタル人材の育成や、民間事業者等による新たなサービス・付加価値の創出に向け、昨年度から、データ利活用による地域課題解決に有効なアプリケーション等を募集するコンテストの開催などの取組を進めている。

3 令和6年度の取組概要

(1) DoboX データチャレンジコンテストの開催

DoboX のデータ等を活用し、地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアなどの優秀作品を選考するコンテストを開催することとしており、その作品募集を8月1日(木)から開始する。

また、開催にあたっては、全国規模のデータ利活用コンテストを行っている(一社)社会基盤情報流通推進協議会と共催し、DoboX のPR と利活用につなげる。

(2) ハッカソンイベントの開催

コンテストの作品の募集開始に先立ち、プログラミング経験の少ない方でも気軽に応募できるようにアプリケーションの開発等を支援するハッカソンイベント(DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2024 in 広島)を7月27日(土)、28日(日)に開催する。

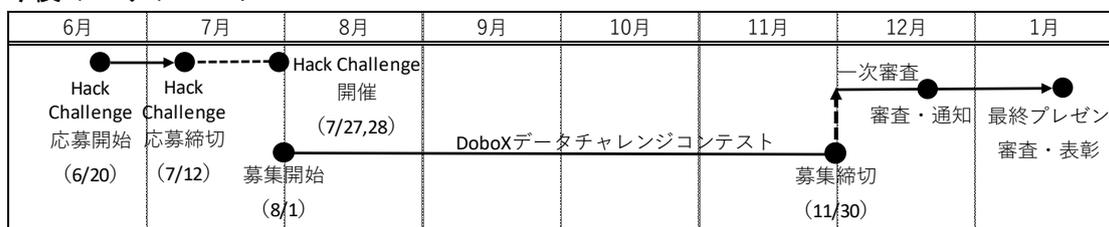
このイベントでは、都市デジタルツインの実装プロジェクト「PLATEAU」を推進する国土交通省と連携し、防災、まちづくり、交通などの地域課題をテーマに参加者と県職員が協働して課題解決に取り組む。(応募方法などの詳細は別紙参照)

(3) 大学等や民間事業者と連携した取組

昨年度から県立広島大学と連携して、県が地域課題やデータなどを情報提供したのちに、学生が課題解決に向けたアイデアやアプリケーションの開発等を行う講義を実施しており、今年度は、新たに広島工業大学と呉工業高等専門学校においても、同様の取組を行うこととしている。

また、新たに民間事業者と連携したハッカソンの開催も予定しており、こうした取組を通じて、次世代を担うデジタル人材の育成につなげる。

4 今後のスケジュール



DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2024 in 広島

2024.7.27 Sat-28 Sun 開催

広島の未来をデザインし提案する、2日間の集中ワークショップ

「DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2024 in 広島」は、DoboX のオープンデータなどを使って、アプリケーションやサービスを開発するハッカソンイベントであり、防災、まちづくり、交通などをテーマに、参加者と県職員が協働し、地域が抱える課題解決に取り組めます。

このイベントは、全国規模のデータコンテスト「アーバンデータチャレンジ」を開催している（一社）社会基盤情報流通推進協議会と、都市デジタルツインの実装プロジェクト「PLATEAU」を推進する国土交通省から派遣されたITエンジニアなどのメンター（指導者）が、開発支援を行うため、プログラミングなどの経験がない方でも気軽に参加できます。

1 イベントの流れ（予定）



2 参加対象

県内に在住する方、もしくは、県内で就労、修学している方

3 開催場所

合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
（広島市中区袋町 6-36）

4 定員

最大 30 名（応募者多数の場合は先着順）

5 申込方法

特設サイトから申込してください。
URL : <https://dobox-data-challenge.jp/>

6 申込〆切

2024 年 7 月 12 日（金）〆切

7 その他

イベントで作成したアプリケーションなどの作品は、本県が開催予定の DoboX データチャレンジコンテストなど、様々なデータコンテストに応募することができます。